

《コース専門教育科目 実習科目》

科目名	こども音楽療育実習				
担当者氏名	児玉 達郎				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	4年・秋期

《授業の概要》

各自のピアノ習熟度に応じた演奏や、音楽療育現場で使用する楽器の使い方を学習する。また、音楽療育を実施する場合の、目標設定・子どもとの関係作り・発達の視点に基づいた音楽活動・音楽の持つ力の活用など、音楽療育の実践方法を学習し、実際の療育的な音楽活動の様々なモデルを模擬実習する。

《テキスト》

随時、資料を配布する。

《参考図書》

参考書・資料等 参考書：適宜紹介する。  
資料：必要に応じて配布する。

《授業の到達目標》

- ・リズム打ちやピアノ伴奏を、意図したテンポに変化させることができるようになる。
- ・5分～10分程度のセッションを組み合わせ、40分程度の音楽療育活動ができるようになる。

《授業時間外学習》

授業で配布する音楽療育活動のプリントを読み、予習（準備）をし、そのピアノ伴奏の練習をする。

《成績評価の方法》

平常点 50%  
模擬実習 50%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	音楽療育の実習についてのオリエンテーション	「かえるの合唱」のピアノ実技。 対象者に合わせるための練習。指導者が意図したテンポに導くための練習。
2	実践に向けての模擬実習 1	「はじめよう」のピアノ実技。
3	実践に向けての模擬実習 2	「終わりのうた」のピアノ実技。 即時反応「サッと立とう、サッとすわろう」「片足トントン」の実習。
4	実践に向けての模擬実習 3	ホールでの模擬実習 1 「はじめよう」「即時反応」「終わりの歌」の模擬実習。
5	実践に向けての模擬実習 4	身体を動かそう「歩く」「ゆっくり歩く」のセッション。テンポの変化。 「さんぽ」のピアノ実技。
6	実践に向けての模擬実習 5	身体を動かそう「走る」のセッション。テンポの変化。 「いとまきのうた」のピアノ実技。
7	実践に向けての模擬実習 6	音声模倣のセッション。 「大きくア」のピアノ実技。
8	実践に向けての模擬実習 7	ホールでの模擬実習 2 「ダイナミックに身体を動かそう：歩く・走る・ゆっくり歩く」の模擬実習。
9	実践に向けての模擬実習 8	聞き分ける能力を育てるセッション。 「お名前呼びます」のピアノ実技。
10	実践に向けての模擬実習 9	動作模倣のセッション。 「ちょうちょう」「ぞう」のピアノ実技。
11	実践に向けての模擬実習 10	動作模倣のセッション。 「ふたさんぶたさんぶうぶうぶう」のピアノ実技。
12	実践に向けての模擬実習 11	動作模倣のセッション。 「たぬきのお腹はポンポコボン」のピアノ実技。
13	実践に向けての模擬実習 12	要求を引き出すためのセッション。 「誰のところに行こうかな」のピアノ実技。
14	模擬実習 1	1「始まりの歌」、2「さまざまな活動：即時反応、身体活動、動作模倣、音声模倣、発声、共同注視、共同注意」、3「終わりの歌」を、1から3の順に模擬実習する
15	模擬実習 2	1「始まりの歌」、2「さまざまな活動：即時反応、身体活動、動作模倣、音声模倣、発声、共同注視、共同注意」、3「終わりの歌」を、1から3の順に模擬実習する